

—桜の花が舞い散る 春たけなわの時季—

旧暦では4月のことを「卯月^{うづき}」といいます。文字通り卯の花（うづき：アジサイ科の落葉低木で白い花を咲かせる）が咲く頃ということから名づけられたとの説が一般的です。

また、「卯月」の「う」には「初」「産」の意味があることから、1年の初めを表すという説や、「卯」が十二支の順番で4番目に位置するためという説もあります。

新暦4月は桜が咲き、春たけなわの時期ですが、旧暦ではこの月から夏が始まります。そのため、「花残月^{はなのこしづき}」「夏初月^{なつはづき}」などの異名もあります。

【花見】——4月上旬～中旬頃（旧暦3月3日頃）——

桜は古くから日本人に最も愛されてきた花といえます。また、「花見」といえば、多くの場合桜の観賞を意味します。もともと花見は、春の農作業に先立ち豊作を祈願して行われていたもので、桜を観ながら持ち寄った酒やご馳走で宴を催しました。

桜の花見は特に平安時代から宮中などで盛んに催されるようになり、多くの詩歌に詠まれました。のちの武家社会の間でも同様で、江戸時代になると庶民にも親しまれる習わしとなり、落語の題材として登場したりしています。

4月の四字熟語 ^{おうからんまん}【桜花爛漫】

桜の花が満開になって、みごとに咲き乱れているさま。「桜花爛漫」とも書く。

4月の本「四月になれば彼女は」川村 元気／著

4月、精神科医の藤代のもとに、初めての恋人・ハルから手紙が届いた。“天空の鏡”ウユニ塩湖からの手紙には、瑞々しい恋の記憶が書かれていた。

だが、藤代は1年後に結婚を決めていた。愛しているのかわからない恋人・弥生と。失った恋に翻弄される12か月がはじまる——



発行：文藝春秋 場所：ティーンズコーナー（W カ）

参考文献：「絵でつづるやさしい暮らし歳時記」日本文芸社

：「新明解四字熟語辞典 第二版」三省堂

4月

2023年 teen 's 季節のカレンダー